

特集

障害者の雇用について知っておきたいこと

障害者の法定雇用率を知っていますか？

障害者自立支援法の施行で、障害者の就職がクローズアップされている。障害者の雇用率は、障害者の雇用の促進等に関する法律により、一般の民間企業(常用労働者数五人以上規模の企業)で一・八%、特殊法人二・一%、国や地方公共団体二・一%、都道府県教育委員会等二・〇%以上と定められている。

平成十八年の一般の民間企業の雇用率は、全国一・五二%、鹿児島県が一・八八%。鹿児島県は、全国より雇用率は高く、法定雇用率をクリアしている。一方、雇用率の未達成の企業は、鹿児島県は四四・一%、全国五六・六%と、半分以上の企業が達成できない状況が続いている。

この法定雇用率を達成し未達成企業の割合を減らしていくことは、障害者が地域で自立するための大きな目標の一つといっている。では、この目標を達成するには、どんなことから始めていけばいいのだろうか。

障害者の雇用では
気長な気持ちが必要

薩摩川内市で水産加工業を営む(株)ヤマカは一九一六年創業。鹿児島で尾羽(オバ)と呼ばれるさらしぐらなど伝統的な食品をつくる一方で、黒酢ダコなど新しい食品を次々と生み出している会社である。そのヤマカで、障害者を雇用するようになったのは平成十六年からだという。

Information

(株)ヤマカ

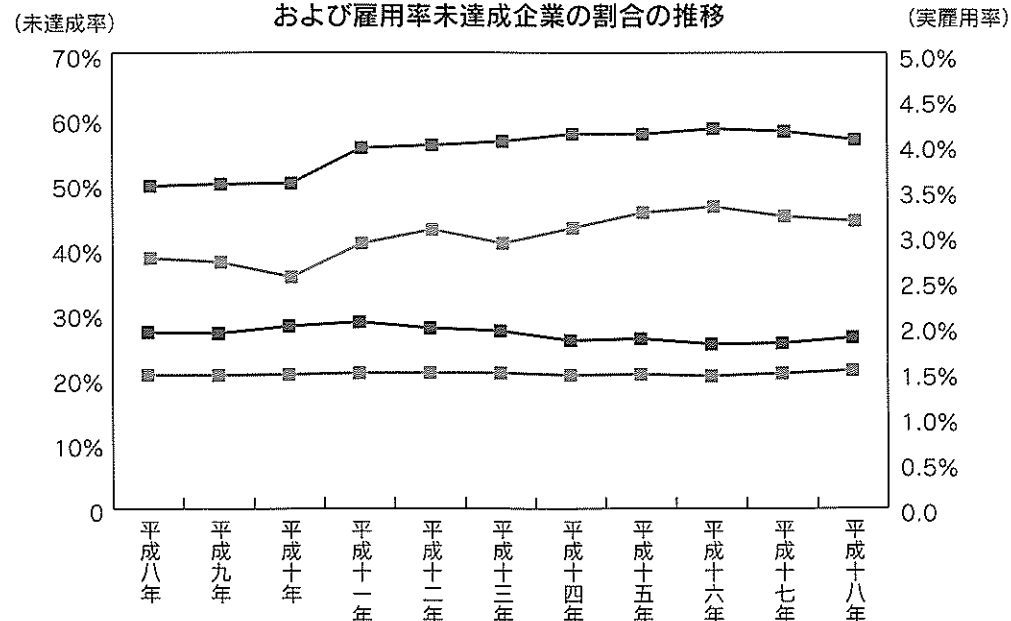
〒895-0076
鹿児島県薩摩川内市大小路町3501
TEL 0996-25-2643
FAX 0996-25-2645

子持ちししゃも、さらしぐら(尾羽)、黒酢だこ等 水産加工食品類の製造卸業。

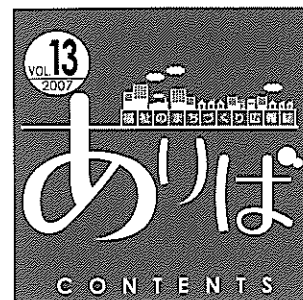
ヤマカ
<http://www.kurozudako.co.jp/index2.html>



一般の民間企業における障害者の実雇用率
および雇用率未達成企業の割合の推移

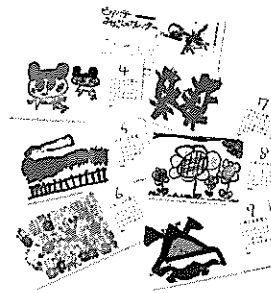


[資料:鹿児島労働局]



「バリア」の逆は「ありば」。
バリアフリーな社会を築くために、
本誌はバリア反対の意を込めて、
「ありば」というタイトルにしました。
みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。
人と人のバリアフリーコミュニケーションを
ご紹介する広報誌、
それが「ありば」です。

平成19年3月30日発行



表紙 / 「ピカソっ子 みんなのカレンダー」

障害のある子どもたちの絵画教室「ピカソ」で描かれた作品からつくられた色彩豊かなカレンダーです。企画したのは、精神障害者で運営する有限会社「萌」。スタッフ全員で1500枚の作品から13枚を選びました。印刷したのは通所授産施設「ゆめの樹」です。障害者のネットワークから生まれました。

お問い合わせは、
子ども美術教室「ピカソ」
TEL/FAX 0993-56-2074 宗純一郎(ソウ コウイチロウ)
http://www.geocities.jp/picasso_516/
店遊び萌 〒897-0221 鹿児島県川辺郡川辺町田部田3743-1 TEL/FAX 0993-56-3738
<http://www.minc.ne.jp/~moe-moe/index2.html>

【特集】
障害者の雇用について
知っておきたいこと

- 障害者の法定雇用率・グラフ PAGE 1
- 就職して自立しようとする障害者
障害者雇用・
もっと詳しく知りたいときは PAGE 2
- 鹿児島障害者職業センター
佐川兼治さんに聞く PAGE 3

- ありば
ヒューマンドキュメント
吉祥寺 友歩さん PAGE 4
- ありば通心
山口 トシ子さん PAGE 6
- ハードルを越えて
大迫 富美子さん PAGE 7
- 鹿児島県からのお知らせ
高齢者、障害者等の移動等の
円滑化の促進に関する法律 PAGE 8
- バリアフリー最前線
鹿児島銀行の新ATM(鹿児島市)
レクサス鹿児島東開(鹿児島市)

???
バリアフリー
Q&A

Q 最近「障害者の権利条約」のことをよく耳にします。どんな条約なのですか？

A 2006年12月13日、21世紀最初の国際人権条約「障害者の権利条約」が国連総会で全会一致で採択されました。条約は2007年3月30日から各国の署名を開始、20か国が批准した段階で発効することになっています。日本は署名、批准のために最善の努力を行うとしています。条約の内容は、障害者の差別撤廃と社会参加の促進を求めるもので、全世界の障害を抱える6億5000万の人々にとって新しい時代の幕開けとなる条約と位置づけられています。

! 条約の内容は、障害保健福祉研究情報システム(DINF)のホームページが参考になります。
<http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/rights/index.html>

[感想をお寄せください]

鹿児島県保健福祉部障害福祉課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1
TEL099-286-2111(内線2746) FAX.099-286-5558

[E-mail] shougai@pref.kagoshima.lg.jp

[URL] <http://www.pref.kagoshima.jp/soshiki/hoken/honcho/shogai.html>

営利を目的とする場合を除き、この本をそのまま読むことが困難な方のために、「録音図書」[拡大写本]等の読書代替物への媒体変換を行うことは自由です。製作の後は上記障害福祉課へご連絡ください。

視覚に障害を持つ方のために、本誌の点字版及び録音図書を鹿児島県視覚障害者情報センター(鹿児島市小野一丁目1-1 ハートピアかごしま3F TEL.099-220-5896)に備え付けてあります。

ヤマカの花田芳浩社長によれば「佐藤梢さんが最初の障害者の雇用で、今年で三年目。現在一人の知的障害者を雇っています。この採用で、会社も何か変わろうとしていることを示したかったのが始まりで、彼らに大きな要求はしなかったのですが、今は戦力となつています。ただ、求めるレベルをどこに想定するかによつては違いますよね。だから、障害者の雇用では気長な気持ちが必要だと思います。何より会社としての社会的責任があります。もちろん不安があったのも確かです。ただ障害者が快く働ける環境なら、どんな方が入社しても違和感のない会社になるだろうという考えもありました。」

■ ちよつとやさつとで 辞めたりしないことが大事

佐藤梢さんは、串木野養護学校とハローワークの紹介でヤマカに勤めはじめた。最初の実習のときから、鹿児島障害者職業センターと知覚育成園から二人のジョブコーチがつき、仕事や職場環境へ慣れるようにサポートを受けた。今では自分の仕事に自信がつき「自分が作っている商品を、店で見たとき達成感を感じる」といふ。これから就職される方へ佐藤さんからのアドバイスを尋ねると「分からないことがあつたら、人任せにしないで自分から聞いてほしい。それと、社会に出たら、嫌なこともあるけど、ちよつとやさつとで辞めたりしない



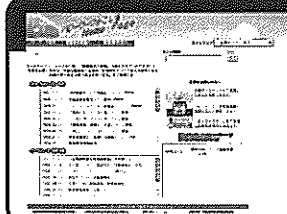
ヤマカの花田芳浩社長 三年前に社長を継いだ

仕事場の佐藤梢さん

こと」としつかり答えてくれた。佐藤さんは魚介類をカットする業務でラインのチーフ川野祥子さんは「作業も速く、言われたことはしつかりしてくる。最初はお互いぎこちなかったが、今は冗談や、言いたいことを言いあえる仲。時間を掛けて知り合うことが大切だと感じた」といふ。花田社長「今まではうまくいっています。でも、将来は未知数と感ずることも。しかし、それも会社としてのチャレンジ。雇用にかかわる人が障害者をよく理解し、長く付き合っていくことが大事だと思います。」

障害者雇用・もっと詳しく知りたいときは

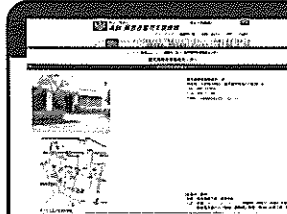
ハローワークかごしま



<http://www11.synapse.ne.jp/hellowork/>

障害者対象求人情報は週2回データ更新。障害を持つ求職者のために、専門の職員・相談員による職業紹介、就業指導を行う。また、雇用者向けに、職域開拓・雇用管理などの相談、障害者のトライアル雇用、職場適応訓練及び各種助成金の案内等を行っている。専門の職業相談員、手話協力員が対応。

独立行政法人 高齢・障害者雇用支援機構 鹿児島障害者職業センター



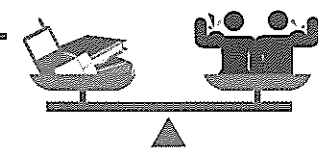
http://www.jeed.or.jp/jeed/location/chiiki/46_kagoshima.html

〒890-0063 鹿児島市鴨池2丁目30-10
TEL099-257-9240 FAX099-257-9281
地域に密着した障害者雇用の相談窓口。さまざまな職業リハビリテーションサービスを実施。

社団法人 鹿児島県障害者雇用促進協会

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町6番6号 鴨池南国ビル12F
TEL099-286-4402 FAX099-286-4410
事業主に対する障害者雇用の啓発、助言、援助。

鹿児島障害者職業センター 主任障害者職業力カウンセラー 佐川兼治(さがわけんじ)さんに聞く



障害者職業力カウンセラー 佐川兼治さん



■ 仕事と働く力のバランスをとる

わたしたちの仕事は、障害者の就職活動や職場復帰の相談、職業訓練、また、ジョブコーチとして障害者の就労をサポートする人を派遣する事業などがあります。多くの企業では、障害者雇用の必要性を理解されていますが、企業が求める人材にマッチングする求職者がいるかという点、なかなか難しい。そんなとき、わたしたちがとる方法の一つに「職務再設計」があります。いわば企業の中で仕事の棚卸しをやって、できる仕事を集めて、障害者の働く力にあつた仕事をつくるのです。手間もかかりませんが、企業は外部の人間が入るのを嫌うという問題もありますけど、これから障害者雇用を進めていくとなると、こういった作業も必要になってくると思います。

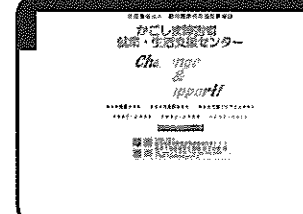
■ ほんたうに新しい社会に

最近気になることは、以前なら、障害者が採用になれば、誰かが必ず面倒を見てくれていたのですが、企業間競争が厳しくなるにつれ最近ではほんたうに新しい社会にまうようなケースも出てきています。企業に望みたいことは、これは障害のあるなしにかかわらずですけれども、もう少し人を育てることに力を置いてほしいと思います。

■ 「障害がとけていく」社会に

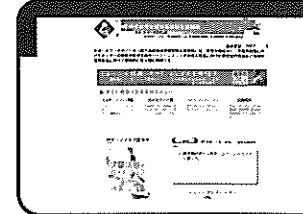
知的障害者の就労支援をされてきたある先生が「障害がとけていく」とおっしゃられました。最初は障害者として就職するわけです。でも、五年十年とたつと障害のあるなしなんてどうでもよくなるんですね。それを「障害がとけていく」と表現された。このことは障害者雇用を考える上で大きなヒントになるような気がします。障害者手帳を持っている人だけで、佐賀、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の五県を合わせたぐらいの人数になります。それに発達障害の方などを加えると、おそらく九州ひとつぐらいの人数にはなると思っています。障害者の問題は決してひとつことではないんです。だからこそ、自分のこととして考える。考えるだけではなく、実際に採用してみるとか、そつじうことを積み上げていくと、障害者雇用の部分でのバリアフリーは進むのかなと思います。

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団 かごしま障害者就業・生活支援センター



<http://www3.ocn.ne.jp/~kssc/index.html>
〒899-2503 鹿児島県日置郡伊集院町妙円寺1-1-1
肢体不自由者更生施設「ゆすの里」内
TEL099-272-5756 FAX099-272-5797
障害者の就業および生活への支援を一体的に行う。

サポートワークかごしま (鹿児島県地域労使就職支援機構)



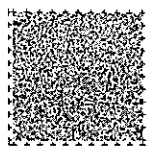
<http://www5.synapse.ne.jp/shienkikou/>
〒892-0842 鹿児島県鹿児島市東千石町1-38 アイムビル2階
TEL099-221-5355 FAX099-221-5357
労使が協力し地域の雇用創出に取り組む機関。

鹿児島障害者職業能力開発校

<http://www12.synapse.ne.jp/kagoshou/>
〒895-1402 鹿児島県薩摩川内市入来町浦之名1432
TEL0996-44-2206 FAX0996-44-2207
職業能力開発促進法に基づく身体・知的障害者の職業能力開発校。

[取材協力:鹿児島県雇用労政課]

ありが ヒューマン ドキュメント



友だちの喜ぶ顔が見たいから

鹿児島を拠点に活躍する吉祥谷友歩さんが手話ミュージカルを始めたのは、平川動物公園でのコンサートがきっかけだという。

「ミュージック『KAGOMAGO』の振付に手話のダンスをつけたんですね。それを踊っていたら、聴覚に障害のあるかなじやが来ていて、すごく喜んでくれたんです。友だちになつたかなじやの喜ぶ顔が見たくて、手話の振付だけでなく、耳の聞こえない人のために、音楽の心というか感動を伝えることがで

音が 歌が 心が見える
「歌のバリアフリーコンサート」
日本全国100か所公演を目指して

きっしょうや ゆうほ [吉祥谷 友歩さん]



手話で「ありがとう」

きないだろうか、仲間と新しいミュージカルを作り始めて、それから田中星児さんも加わって、歌を三つの要素に分ける『見る音楽』を考えました。歌う人の気持ちを表す、歌詞を手話で表す、歌のテンポを表す、この三つを組み合わせて、聴覚障害の人にも楽しめるバリアフリーコンサートが始まりました。こういうパフォーマーは世界初なんですよ」

現在、吉祥谷さんは、この「歌のバリアフリーコンサート」全国百か所公演を目標にしている。

「最初の公演のとき、障害のある

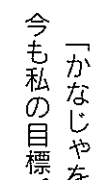
子どもたちがとても喜んで、後半になるとステージに上がりたくてうずうずしているのが分かるんです。そこで『みんなおいでっ』と声をかけると、客席がガラガラになるくらい。一緒に踊ったり歌ったり楽しくて。そのコンサート後のサイン会で、聴覚障害のある子どもが私のCDを買ってくれたんです。びっくりして、『どうしてCDほしいの?』と尋ねたら、初めてコンサートに来て一緒に歌ったり踊ったりするのがすごく楽しくて、友だちに自慢したいから買っただって。もう、このことを聞いた

ときに、涙が止まらなくて。『音楽がはじめて楽しめた』と言ってくれるんです。それなら、こういうコンサートを全国でやっていったら、日本中の聴覚の不自由な子どもたちが音楽の世界の扉を開ききつかけになるんじゃないかと思っただけです」

ゆうほ&プリンデン (仲間たち)

吉祥谷さんに手話ミュージカル「ゆうほ&プリンデン」のメンバーを紹介してもらった。

Kanaja(かなじや)さん



「かなじやを喜ばすというのが今も私の目標。笑顔がすごく素敵なんです。かなじやも聴覚障害のあるみんなの目標になるような舞台人になりたいと言っています」

マダム・ツボムさん



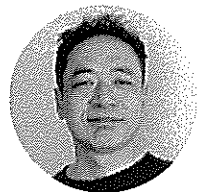
「ゆうほ&プリンデンのリーダー。関西のほうでミュージカル劇団をしていて、私の舞台の先生。歌のテンポをメトロノームみたいに表すパフォーマーを担当」

マサカ・ハタさん



「『踊れる手話通訳』なんてめつたにいません。マサカの手話は、聴覚障害の人が見てもすごく優しい手話だと思います。真面目すぎて、なかなか融通が利かない面も」

クララ・ベルマンズさん



「歌う人の気持ちを表現力豊かに表すパフォーマー。手話ミュージカル『不思議の村の宝物』の脚本作家兼進行役。クララの語り

バリアフリーの種をまく

最初にお客様の気持ちをキャッチするんです。ゆうほ&プリンデンのプリンデンは、クララの母語オランダ語で「仲間たち」の意味です」

吉祥谷さんには、いろんな場所に出かけた際、どんぐりやクルミの実を拾い集めてきて、それを植えて育てるお気に入りの場所があるのだそう。十年ぐらい前に植えたクルミが、今では十メートルの木に育っているという。

吉祥谷さんは、子どもたちと同じ目線で感じることができ、子どもたちとすぐ友だちになれる人。子どもたちの胸のなかに隠れていた喜びの種を芽吹かせる「魔法」をもっている人でもある。

これから日本各地で、吉祥谷さんたちは、バリアフリーの種をまいていく。機会があればぜひコン

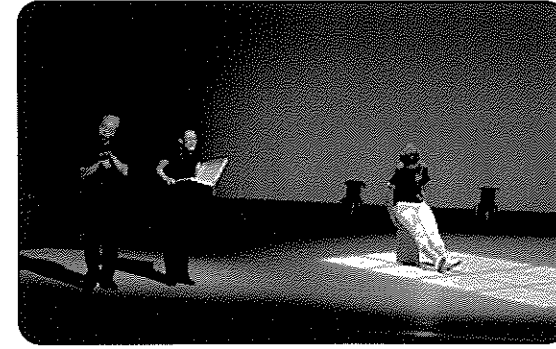
サートを体験してほしい。吉祥谷さんの歌声から喜びの種が会場のあちこちで芽吹いているのを感じるだけでも、とても気持ちのいい体験だから。心から楽しんで体感してそして、バリアフリーって「あれだ」と感じるのが、このコンサートなんです」



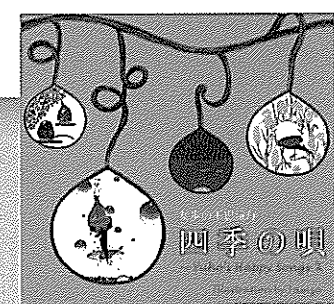
友歩さんと舞台いっぱいの子どもたち



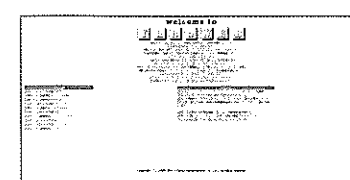
マダム・ツボム、Kanaja(かなじや)、友歩さん



マサカ・ハタ、クララ・ベルマンズ、Kanaja(かなじや)



吉祥谷友歩 CD
『Yuhoho's Happy Songs』2003
『鹿児島弁のもじよか唄』2004 雨蘭咲木子&吉祥谷友歩
『友歩の不思議な四季の唄 Yuhoho's Happy Songs 2』2005



[吉祥谷友歩公式サイト]
<http://www.yuhoho-kissyoya.com/>

